

2017年度前期 授業アンケート結果集計 (講義科目・外国語科目)

<全学集計>

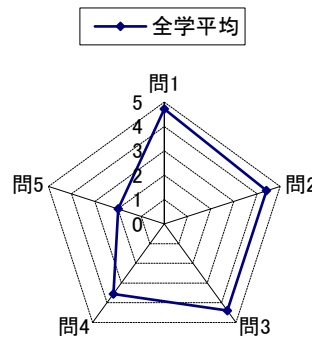
■集計グループ	全学集計
■履修登録者数	2,179人
■アンケート回答数	2,054人
■回収率	94.3%
■学生所属学部	

学部名	回答件数	構成比
教育学部	1	0.0%
外国語学部	0	0.0%
経済情報学部	0	0.0%
看護学部	0	0.0%
羽島教養(合同)	0	0.0%
短期大学部	1,989	96.8%
無回答	64	3.1%
合計	2,054	100.0%

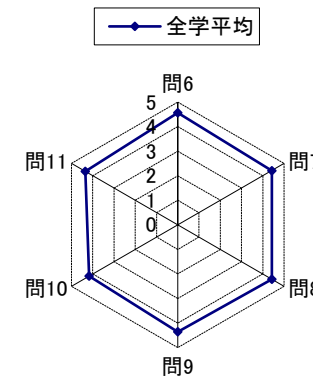
学年	回答件数	構成比
1年	1,483	72.2%
2年	446	21.7%
3年	54	2.6%
4年	0	0.0%
無回答	71	3.5%
合計	2,054	100.0%

性別	回答件数	構成比
男	58	2.8%
女	1,914	93.2%
無回答	82	4.0%
合計	2,054	100.0%

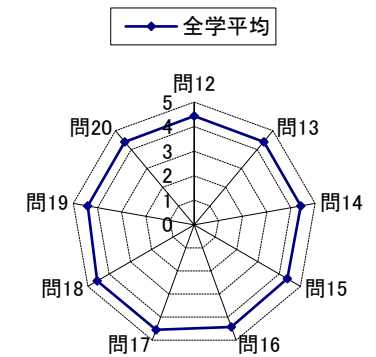
<学修意欲>



<授業内容>



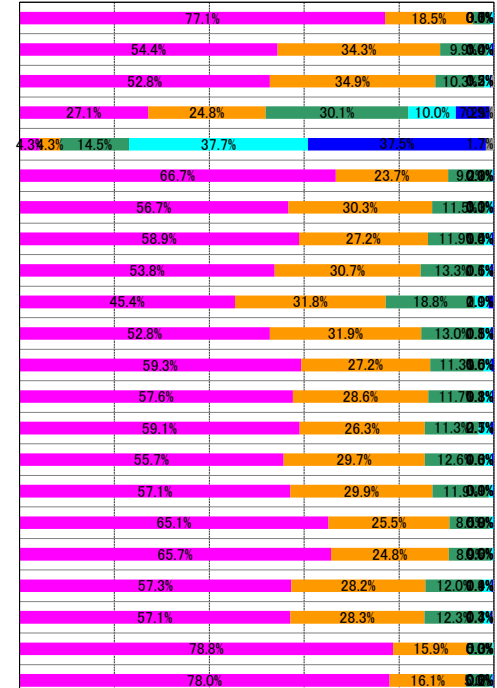
<授業方法>



設問別評価集計表

学修意欲	アンケート設問内容	評価平均	評価構成 (件数)					無回答
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1	授業への出席率ほどの程度でしたか。	4.7	1,583	379	77	13	2	0
2	私語、居眠り、内職、携帯電話(メール)はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.4	1,117	704	203	20	9	1
3	学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.4	1,084	716	212	25	6	11
4	よくわからないことは積極的に質問している。	3.6	557	509	618	205	147	18
5	この授業のために毎週平均どのぐらい予習または復習を行いましたか。	2.0	88	88	298	775	771	34
6	シラバスに基づき授業が進められた。	4.6	1,369	487	188	6	3	1
7	基礎的内容から徐々に応用、専門的内容へと発展性があった。	4.4	1,164	623	237	27	3	0
8	授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.4	1,210	558	245	31	9	1
9	授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.4	1,105	631	273	32	10	3
10	知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.2	933	653	386	59	21	2
11	この授業は全体として満足のいくものであった。	4.3	1,084	655	266	36	10	3
12	教科書、参考文献、教材(視聴覚教材を含む)などが、効果的に活用された。	4.4	1,219	559	232	33	11	0
13	授業を進める速さは適切であった。	4.4	1,183	587	240	36	6	2
14	教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.4	1,213	541	233	55	10	2
15	授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.4	1,144	611	258	33	7	1
16	通年または半期全体の授業の流れが、体系的に良く組織化されていた。	4.4	1,173	615	244	19	3	0
17	教員の授業準備は十分であると感じた。	4.5	1,338	524	174	17	1	0
18	研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.6	1,349	510	182	11	1	1
19	学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.4	1,177	580	246	40	8	3
20	学生と双方向の授業が展開されていた。	4.4	1,172	581	252	35	8	6
21	授業クラスの人数は適切である。	-	1,618	327	102	6	0	1
22	教室の広さや環境は適切である。	-	1,602	331	103	13	4	1

■評価5: と思う
■評価4: どちらかと言えばと思う
■評価3: どちらとも言えない
■評価2: あまりそう思わない
■評価1: そう思わない
■無回答



(設問1) 評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

(設問5) 評価5: 3時間以上、評価4: 2~3時間、評価3: 1~2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間